

令和8年度 認知症対応力向上多職種協働研修ご案内

西京区認知症地域ケア協議会 第30回事例検討会

地域の見守りの大切さと難しさ ～個別地域ケア会議とは～

今回は散歩から自宅に帰れなくなり始めた90歳代男性。妻と二人暮らし、デイサービスとヘルパーを利用中。市販GPSを購入し妻と遠方の息子が受信出来るよう設定しましたが、妻は機器操作が困難で都度交番へ相談。警察の搜索回数も増えていきました。本人と家族の意向が「周囲の協力を得ながら出来る限り自宅での生活を続けたい」とのこと、家族を交えた個別地域ケア会議を開催し、地域での情報共有と発見時の連絡体制をつくった事例です。

事例を通じて地域の見守りや個別地域ケア会議について、一緒に考え学びます。毎回好評の認知症ミニ講義も予定していますので、ぜひご参加ください。

2026

11.19 木

14:00-16:30

ホテル京都エミナース

定員：150名（申し込み状況によりご参加いただけない場合があります。ご承知おきください。）

【内容】

- ①事例紹介
- ②個別地域ケア会議について
- ③グループワーク
- ④認知症サポート医のミニ講義

【対象】

医療・介護・福祉専門職、
民生児童委員、老人福祉員、
学区社協、行政など

【申込】

下表に記入しFAX、
または下記申込フォーム

（締切は11月4日です）

※今回の認知症対応力向上多職種協働研修は、京都府医師会と西京医師会の共催です。

事業所または医療機関名：

氏名

職種

- 本研修会は事前申込制です。
- 申し込み後、欠席される場合は必ず事務局までご連絡ください。

お問合せ

西京区在宅医療・介護連携支援センター（担当：永田）

TEL：075-874-7708

mail：zaitaku_3@nishikyo-med.or.jp



申込みFAX：874-6277